

研究だより

No. 2
平成29年5月18日

のびのびタイムのようす

4月から、のびのびタイムの時間に国語や算数を中心に基礎学力の定着に取り組んでいます。短い時間ではありますが、集中して学習に取り組むことで学力の定着はもちろんのこと、落ち着いた学級集団づくりに役立てばいいなと思います。

「継続は力なり！」です。続けることは、根気も労力も必要で大変かもしれませんが、子供たちのために頑張りましょう！！私も頑張ります！

（担任の先生から、プリントの裏面の漢字の書き取りが「役立った！」という声を聴いて、すごく嬉しかったです。自習時間等に役立てて下さい。）



だれも後ろを向きません！



落ち着いた雰囲気！



姿勢チャンピオン！



間違えても再チャレンジ！



集中力がすごい！



漢字をたくさんかいていますね！



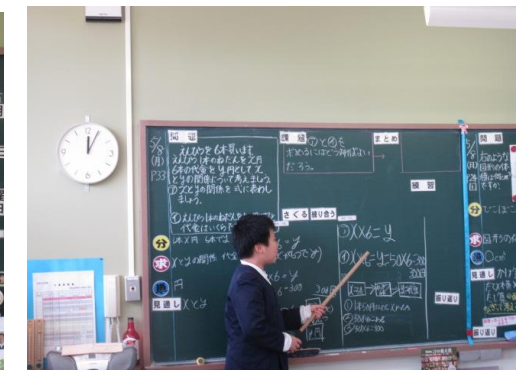
集中して正確に問題を解いています！



それぞれの課題に一生懸命取り組んでいます！

参観授業のようす(5・6年 算数科)

5月8日(月)に、村上先生の算数科の授業を参観しました。特に5年生の「体積」は、今年度の研究の柱である「単元をつらぬくアイデア」がちりばめられた素晴らしい授業でした。6年生の「文字と式」も第1次とは思えないくらい子供達が主体的・対話的に授業を進めていました。たくさんの感動の中から、私が感じた村上先生の指導の工夫を何点か挙げてみます。



ポイント①・・・「見通し」(5年)

・L字型の立体の体積を求める「見通し」で、「かけ算やたし算を使います。」と言った児童に対して、「**何でかけ算なの？**」と切り返した。すると、「**2つに区切って考えます。**」と児童が反応し、すかさず「**今まで習ったことある？**」と返す。すると、「**面積で習いました。**」と児童が発表し、練り合いが深まった。

(「見通し」では計算方法ではなく、「考え方」を述べさせる。)

ポイント②・・・「ラベリング」(5年)

・練り合いで出た意見ラベリングでタイトルをつけさせた。「全体-とうめいな所」、「2つに分ける」の2つの考えが出た。「**単元をつらぬくアイデア**」を使った方法であり、次時からの学習に役立つと考えられる。(ポイントを押さえた指導。)

ポイント③・・・「関係図」(6年)

・第1次の授業にも関わらず、ほぼ全員の児童が関係図をかいて、xとyの関係を式に表した。(関係図の良さを子供が実感し、使うことに慣れている。)